

岐阜県産のセスジササキリモドキ
とミドリササキリモドキ …… 岡田正哉 …… 11

高富町大桑でサカハチチョウを採集 …… 飯田逸博 …… 12

クロミドリシジミを岐阜県で採集 …… 竹谷雅彦 …… 13
飯田罔昌

羽島市でクロノマチョウ採集 …… 森 行春 …… 14

徳山村で初記録のゼフィルス2種 …… 杉下秀一 …… 14

岐阜県未記録のヤガ1種 …… 尾藤成人 …… 15

岐阜県昆虫分布研究会第1回採集会報告 …… 船越進太郎…16
揖斐高原9月の蛾

1983年3月29日の岐阜県 …… 船越進太郎…18
高山市における越冬キリガの行動 …… 鈴木利文

紹介
岐阜県産ヤガ科蛾類700種になる …… 尾藤成人…20

岐阜県昆虫分布研究会機関誌

岐阜県のセスジササキリモドキとミドリササキリモドキ

岡田正哉

Xiphidiopsis spathulata and *Xiphidiopsis suzukii*

(Orthoptera, Tettigoniidae) in Gifu Prefecture

Masaya OKADA

セスジササキリモドキとミドリササキリモドキは、体長(頭頂より翅端まで)22mm. 前後に小型の種類で樹上性である。これらは最近 YAMASAKI (1982) により詳しく解説された。

両種とも岐阜県内での記録は少ないようであるが、これまでに筆者が採集した産地を記録したい。また、これらと共に文献によるものも含めその産地を地図上にプロットしてみた。

Xiphidiopsis spathulata TINKHAM セスジササキリモドキ (ウスイロホシササキリモドキ)

西南濃: 南濃町徳田谷, 18. X. 1984, 2♀♀;
東濃西: 瑞浪市大久後, 17. VIII. 1980, 1♂.

直翅類研究グループ(1983)は、揖斐郡藤橋村

鶴見, 横山ダムから1♂を記録している。

- セスジササキリモドキの採集地
- ミドリササキリモドキの採集地



セスジササキリモドキとミドリササキリモドキの産地

X. suzukii (MATSUMURA et SHIRAKI) ミドリササキリモドキ (ササキリモドキ)

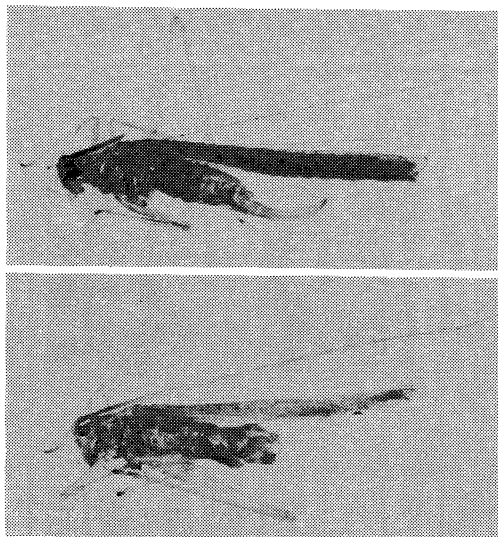
西南濃：南濃町徳田谷，18. X. 1984, 1♂；南濃町下多度，21. IX. 1983, 1♂；関ヶ原町八幡池，2. X. 1980, 1♀. 東濃西：瑞浪市大久後，5. XI. 1981, 1♂ 2♀♀，東濃東：恵那市武並町，5. X. 1980, 2♀♀，5. XI. 1981, 1♀.

この他に，直翅類研究グループ（1983）が，本巣郡根尾村大河原から1♀を，村井・大野（1982）が，岐阜市粟野から記録している。

産地がかたよっているのは調査不足によるものと思われる。今後は各地からの記録を増し，詳しい分布域を明らかにしてゆきたいと思う。

文 献

1. 直翅類研究グループ(1983)大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第15集 日本の直翅類. 101pp., 大阪市立自然史博物館, 大阪.
2. 村井俊郎・大野伴和(1982)直翅類. 岐阜県の昆虫: 239-247, 岐阜県環境部環境保全



上. セスジササキリモドキ♀, 下. ミドリササキリモドキ♂. (いずれも南濃町徳田谷産)

課, 岐阜県.

3. YAMASAKI, Tsukané (1982) Some new or little known species of the Meconematinae (Orthoptera, Tettigoniidae) from Japan. Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo, Ser. A, 8 (3): 119-130.

高富町大桑でサカハチチョウを採集

飯田逸博

Capture of *Araschnia burejana strigosa* BUTLER at Takatomi-cho (Gifu-Prefecture)

Ithuhiro IIDA

岐阜県山県郡高富町大桑は高富町では一級の昆虫採集地で，古くから多くの同好者が訪ずれている。筆者は1976年より採集にでかけていて，一通りの蝶は採っているが，そのうち，記

録に残したい蝶，*Araschnia burejana strigosa* BUTLERがあるので，報告する。

Araschnia burejana strigosa BUTLER サカハチチョウ

山県郡高富町大桑高札，3. V. 1983, 1♂, 飯田逸博採集所蔵。

本種は，高富町では稚倉で1頭採れているに過ぎない。大桑は新知見と思われる。

文 献

- 武田 享他(1982)岐阜県の昆虫. 556 pp. (岐阜県)

クロミドリシジミを岐阜県で採集

竹 谷 雅 彦

飯 田 圀 昌

A record of *Favonius yuasai* SHIROZU in Gifu Prefecture

Masahiko TAKETANI • Kunimasa IIDA

クロミドリシジミ *Favonius yuasai* SHIROZU は、長野県下伊那郡天竜峡から湯浅氏により、1945年6月28日に4♂、1♀が採集され、これらを基にして白水氏が発表したもので、戦後に新種として記載された数少ない種である。

岐阜県近隣では、基産地である長野県下に多くの多産地があり、愛知県下でも三河山地一帯に広く分布することが知られている。岐阜県下は分布の空白地とされていたが、生息の予想されていた種である。

筆者らは本種の調査後、仮発表の形で、竹谷(1983)が「岐阜県においてクロミドリ終令幼虫採集」(GKK通信, 3号, 12月10日発行)と報告し、飯田(1983)は「岐阜県の蝶調査チェックポイントII」(啓蟄 vol, 1, No.2, 12月20日発行)

において本種を採集したと発表した。これらの個体を飼育した結果、本種がクロミドリシジミであることを確認し得たので、ここに報告する。

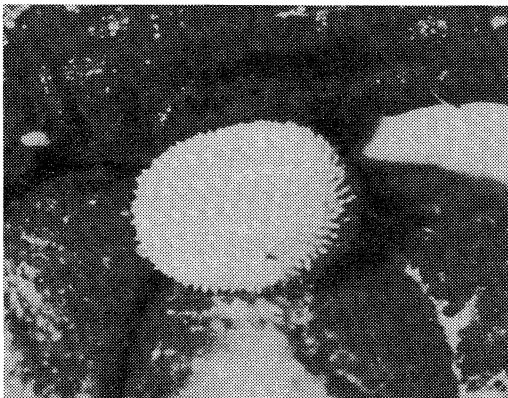
記 録

1. 恵那郡串原村大野, 8. V. 1983, 終令幼虫 3exs. (竹谷採集), 飼育の結果同年5月28日に2♂, 1♀が羽化した。
2. 恵那郡串原村矢作第1ダム展望台, 14. X. 1983, 生卵 3exs., 寄生卵 4exs. (飯田・左中千尋採集), 飼育の結果1984年5月15日に1♀が羽化した(金森伸一氏が飼育)。
3. 恵那郡串原村矢作第1ダム展望台, 26. V. 1984, 終令幼虫 2exs. (飯田採集), 同年6月16日に2♀の成虫が羽化した。

採卵時の樹木及び終令幼虫の食樹としては、クヌギかアベマキが考えられるが、この場合はアベマキであると思われる。なお、成虫を長野県産のものと比べてみたが地理的変異を示す個体は認められなかった。

文 献

1. 白水隆(1947)クロミドリの記載, *Zephyrus*, 9: 238-244.
2. 白水隆他(1962)原色日本蝶類幼虫大図鑑 Vol.1(保育社)。
3. 福田晴夫他(1984)原色日本蝶類生態図鑑 III. シジミチョウ科(保育社): 157-161.



クロミドリシジミの卵 恵那郡串原村産

羽島市でクロコノマチョウ採集 森 行 春

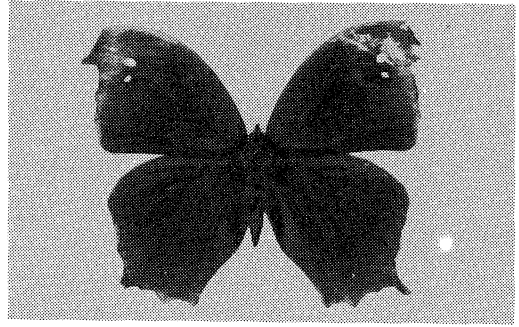
Melanitis phedima oitensis MATSUMURA
(Lepidoptera, Satyridae) collected from
Hasima (Gifu Prefecture).

Yukiharu MORI

筆者は下記のように羽島市内でクロコノマチョウ(*Melanitis phedima oitensis* MATSUMURA) (秋型)を採集しているので報告する。

羽島市内では、すでに福寿町平方で1頭採集されており(伊藤, 1976), この報告は2番目の記録となる。

尚, 末筆ながら発表を勧めて頂いた飯田逸博氏に厚くお礼申し上げます。



クロコノマチョウ (羽島市中下町産)

羽島市中下町北河原, 21. XI. 1981, 1 ♂.

文 献

伊藤義弘 (1976) 羽島市でクロコノマチョウを採集. 佳香蝶 28 (105): 3.

徳山村で初記録のゼフィルス2種 杉 下 秀 一

Two species of zephyrus-group (Lepidoptera, Lycaenidae) recorded from Tokuyama-mura, Gifu Prefecture

Hidekazu SUGISITA

筆者は3年前から徳山村に入村して蛾類の調査を続けているが、当地では未記録種とされて

いるゼフィルス2種を採集したので報告する。

1984年6月22日, 朝は霧雨で午後は雲の多い状態であった。徳山村磯谷でミズナラの木をネットでたいた所, 樹上から舞い降りて来たウスイロオナガシジミ1♂と♂どもえをしていたメスアカミドリシジミ2♂♂を採集した。

飯田圀昌氏によると, ウスイロオナガシジミは隣県の福井県では多産しているが, 岐阜県では稀で, 徳山村では過去にも記録がない。

これらの種が当地の土着種であるか隔産種であるかは, 今後の調査を待たなければならないので, 読者諸氏の情報のご協力をお願いしたい。

発表にあたり, 御教示下さった飯田圀昌, 太田等の両氏に対し厚く謝意を表したい。

1. *Antigius butleri* FENTON ウスイロオナガシジミ

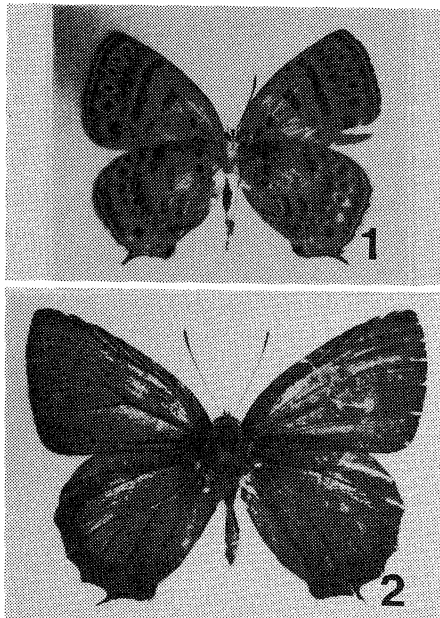
徳山村磯谷, 22. VI. 1984, 1 ♂. (写真: 1)

2. *Chrysozephyrus smaragdinus* BREMER メスアカミドリシジミ

徳山村磯谷, 22. VI. 1984, 2 ♂♂ (写真: 2)

文 献

1. 白水隆・川副昭人・若林守男 (1971) 原色日本蝶類図鑑. 保育社 (大阪): 85 pp.
2. 岐阜県環境保全課 (1982) 岐阜県昆虫分布調査報告: 287-288.



岐阜県未記録のヤガ 1 種

尾 藤 成 人

An unrecorded moth from Gifu Prefecture
Narihito Iino

岐阜県昆虫分布研究会会員である遠藤弘志氏よりいただいた蛾類 (*Bomolocha* 属) を整理していたところ、岐阜県未記録の蛾, *Bomolocha benepartita* SUGI シモフリヤマガタアツバが混じていたので報告する。

貴重な標本を提供いただいた遠藤弘志氏, 本種の同定をいただいた日本蛾類学会, 杉 繁郎氏に対しお礼申し上げます。

Bomolocha benepartita SUGI シモフリヤマガタアツバ

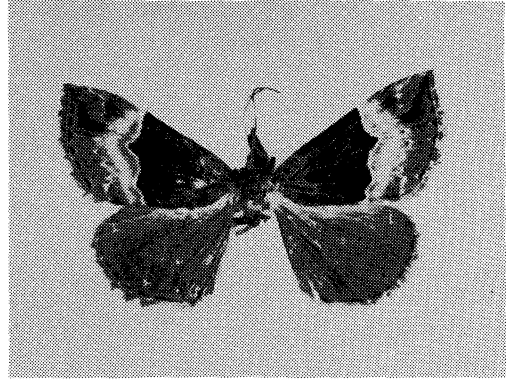
郡上 : 八幡町安久田 (大滝鐘乳洞), 15. VI. 1975, 1 ♀ (遠藤弘志).

■■■■■■ 啓蝥の原稿を募集します ■■■■■■

- 原稿は原稿用紙に書いて下さい。専用原稿用紙がありますので希望者は連絡ください。
- 出来上り 11 ページ (400 字詰原稿用紙約 40 枚) 以上の報文を一举掲載する時は、超過分費用が著者負担となることがあります。
- 原稿の書き方は、投稿規定が出来る間、本号を参考にして下さい。不備な原稿は、編集者が訂正を求めることがあります。
- 英文タイトルは要望があれば編集者がつけます。
- 原稿の送り先、照会先は下記のとおりです。

〒500 岐阜市加納南陽町三丁目

岐阜県立加納高等学校内 田中正弘 宛
(お願い) 著者は、原稿粉失等の事故に備え、コピー等で控え原稿を作成し、保存しておいてください。



Bomolocha benepartita SUGI シモフリヤマガタアツバ♀

文 献

1. 遠藤弘志他 (1982) 岐阜県産昆虫目録, ガ類 (ヤガ科). 武田享他, 岐阜県の昆虫 : 329 - 397. (岐阜県)
2. 杉 繁郎 (1982) ヤガ科. 井上寛他, 日本産蛾類大図鑑 1 : 815, 2 : 383, pls. 197, 374.

啓蝥 2 (5) に掲載したタケウチエダシャクの写真について

本誌 2 (5) 19P. 掲載のタケウチエダシャクの写真は, *Biston conitata* WARREN ハイイロオオエダシャクではないのか? との指摘を, 二, 三の方からいただきました。

確かに同写真は, 一見ハイイロオオエダシャクを思わせますが, 外横線等を検討していただければ明らかなおおり, タケウチエダシャクのものです。

誤解を生じた原因は, ①製版費用を安くする為, 写真の再現性の悪い印刷をおこなっている。

②原版写真がカラー写真であった。ことなどによると思われます。

多くの方々にご迷惑をおかけしたことをおわびいたします。 (編集者)

岐阜県昆虫分布研究会第1回採集会報告

揖斐高原 9 月の蛾

船越進太郎

Moths collected at Ibi Heights in September 1983.

Sintaro FUNAKOSI

1983年9月17・18日、岐阜県昆虫分布研究会主催の第1回昆虫採集会が、揖斐郡久瀬村揖斐高原（640 m）でおこなわれた。

その時採集した蛾類の目録を報告する。また、同定するにあたり、交尾器の検鏡をおこなったので、その写真もあわせて掲載する。

当地の谷筋にはテンニンソウ（西南日本の太平洋側に分布するソハヤキ要素の代表植物）の群落があり、クロヘリノメイガ *Sylepta fuscomarginalis* LEECH が営巣していた。何匹かの幼虫を飼育し羽化させることができたので蛹および交尾器の写真も載せた。

採集日当日（17日）は、晴天で月齢10.0、月出15:30の寒い夜（翌朝最低温度17.3°C、平年差-1.8°C、岐阜）であったため、水銀燈への蛾類の飛来は少なかった。

本報を書くにあたり、カバナミシャク属の同定で御助言を頂いた大阪府立大学橋本里志博士、当地の植物についての知見を御教示頂いた岐阜東高校成瀬亮司氏に対しお礼を申し上げる。

1. *Archips oporanus* LINNAEUS マツアトキハマキ（1♂）。
2. *Tyspanodes striata* BUTLER クロスジノメイガ（1♀）。
3. *Sylepta fuscomarginalis* LEECH クロヘリノメイガ（8幼虫）、写真1、写真2。
4. *Maruca testulalis* HUBNER マメノメイガ

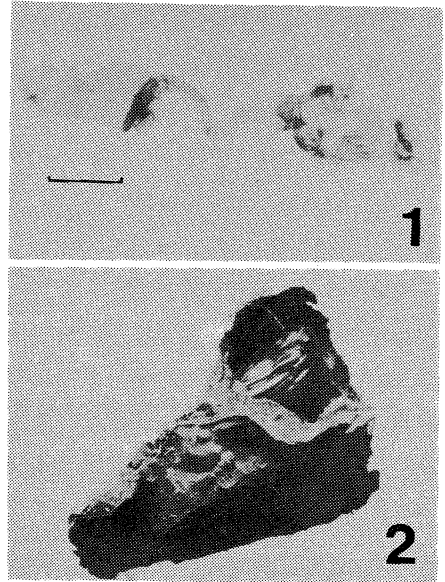


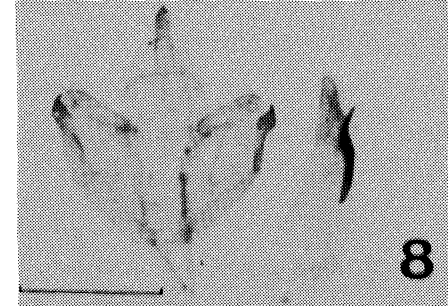
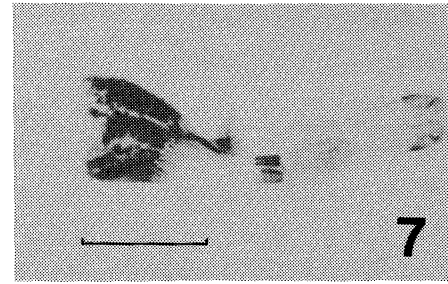
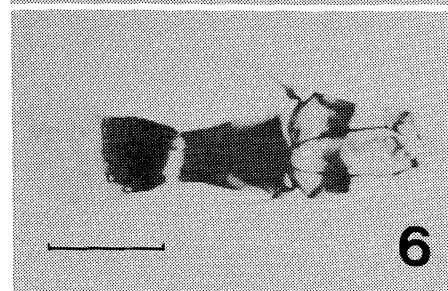
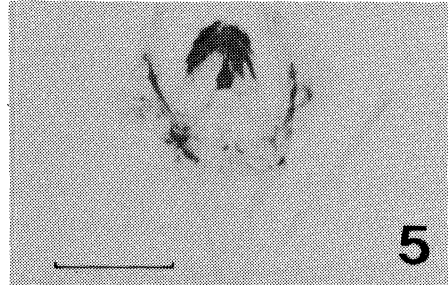
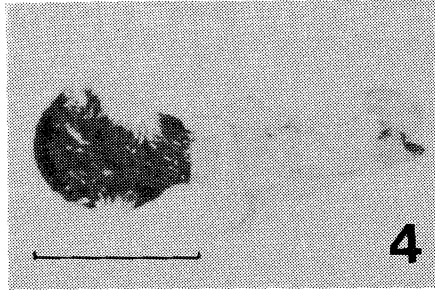
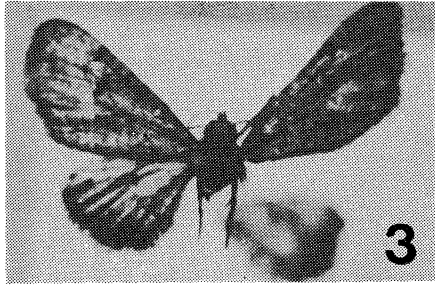
写真1 クロヘリメイガ♀の交尾器

写真2 クロヘリメイガの蛹

1983年9月17日に採集した終令幼虫は、葉で袋をつくり、10月28日にはその中で蛹化していた。その後11月9日羽化（室内）。

（1♀）。

5. *Herpetogramma rudis* WARREN マエキノメイガ（1♂）。
6. *Paliga auratalis* WARREN ヘリジロキノメイガ（1♂）。
7. *Patagoniodes nipponellus* RAGONOT トビスジマダラメイガ（1♂）、写真5。
8. *Ceroprepes ophthalmicella* CHRISTOPH ウスアカモンクロマダラメイガ（1♀）、写真6。
9. *Culpinia diffusa* WALKER アカアシアオ



Eupithecia sp ♀成虫 (写真: 3とその交尾器 (写真: 4)

シャク (1 ♀).

10. *Eupithecia tripunctaria* HERRICH-SCHÄFFER シロテンカバナミシャク (1 ♀), 写真7.

11. *Eupithecia* sp. (1 ♀), 写真3, 写真4. 橋本氏によれば, *E. interpunctaria* に近い群である. 交尾器の変異か, 未記録種かは今後の調査を待たなければならないとのことである.

12. *Caligula japonica* MOORE クスサン (1 ♂, 1 ♀).

13. *Eilema deplana* ESPER ムジホソバ (1 ♂), 写真8.

14. *Eugoa grisea* BUTLER クロテンハイイロコケガ (1 ♀).

15. *Miltochrista pulchra* BUTLER ゴマグラベニコケガ (1 ♀).

16. *Amphipyra monolitha* GUENÉE オオシマカラスヨトウ (1 ♂).

写真5 : トビスジマグラメイガ♂の交尾器

写真6 : ウスアカモンクロマグラメイガ♀の交尾器

写真7 : シロテンカバナミシャク♀の交尾器

写真8 : ムジホソバ♀の交尾器

写真中のスケールは、いずれも1mmを示す

1984年3月29日の

岐阜県高山市における越冬キリガの行動

船 越 進 太 郎

鈴 木 利 文

Observation of wintering moths in Takayama city (29. III. 1984)

Sintaro FUNAKOSI • Tosifumi SUZUKI

ヤガ科セダカモクメ亜科 *Conistra* 属は越冬キリガと呼ばれ、成虫で越冬し翌春産卵することが知られている。雑木林に黒砂糖と酒で作った糖蜜をしかけておくと成虫が吸蜜に飛来し、気温や湿度などの条件がよければ、一度に多数の個体が集まってくる。本属のナワキリガ *Conistra nawae* MATSUMUTA は岐阜県で発見された種で、岐阜市金華山では多産する。越冬キリガ類は飛騨地方などでは雪上でもみられ、多くの昆虫が休眠をしている中での活動は興味深い。

藤原（1982）は岐阜市長良志段見の雑木林で *Conistra* 属の生態を調べ、テンスジキリガ *C. fletcher* SUGI, ホシオビキリガ *C. alpipuncta* LEECH, カシワオビキリガ *C. ardescens* BUTLER の3種の出現期にずれがあることを見出した。また、翌年にはナワキリガを用いて室内実験を行ない照度・温度と活動時間との関係を調べた。

1984年3月29日、高山市緑ヶ丘において越冬キリガ類の行動を観察したので報告する。

調査方法及び調査地の概要

調査地は小高い丘陵地の緩やかな南斜面にあり、近年樹木の伐採とともに宅地化が進められている。この日の天候は曇でやや風があり、日の入りは18時12分、月の出は4時27分、月齢26.4であった。山野は残雪で覆われ、ところどころに地表が顕われていた。約5 m間隔に7本の

雑木（I～VII）を選び、樹幹の約1 mの高さに糖蜜をぬった。樹種はVIがクリ、他の6本がコナラで、いずれも直径約15～25 cmの若木であった。18時20分に糖蜜をぬり終え、このときから全ての個体が姿を消す21時50分まで観察を行った。方法はIより順次VIIまで回り、そのつど吸蜜個体をチェックした。VIIを回った後、温度と風速を測定した。吸蜜個体に対しては、光や音の影響をできるだけ与えないように赤色光で観察し、物音をたてないように配慮した。

結果及び考察

Iは斜面の最も低い場所で、外燈の光を直接受けていたため吸蜜個体は見られなかった。II～VIIで観察した個体を図1に示した。途中、一時的に雪が降ったが成虫の行動には大した変化がみられなかった。藤原（1983）は室内の観察でナワキリガが5 Luxで動き始め、40分間の活動を確認している。これは成虫が日没後あまり遅くまで活動しないことを意味する。ここで観察したのはホシオビキリガ及びカシワオビキリガであるが、これらの成虫は野外ではかなり遅くなくても活動しており、IIで19時43分、20時03分、IVで20時42分、Vで19時48分、VIで20時18分、20時37分及び21時28分に飛来が見られた。また、室内では朝までじっと動かずに静止し、翌朝5 Luxで姿を消しているが、野

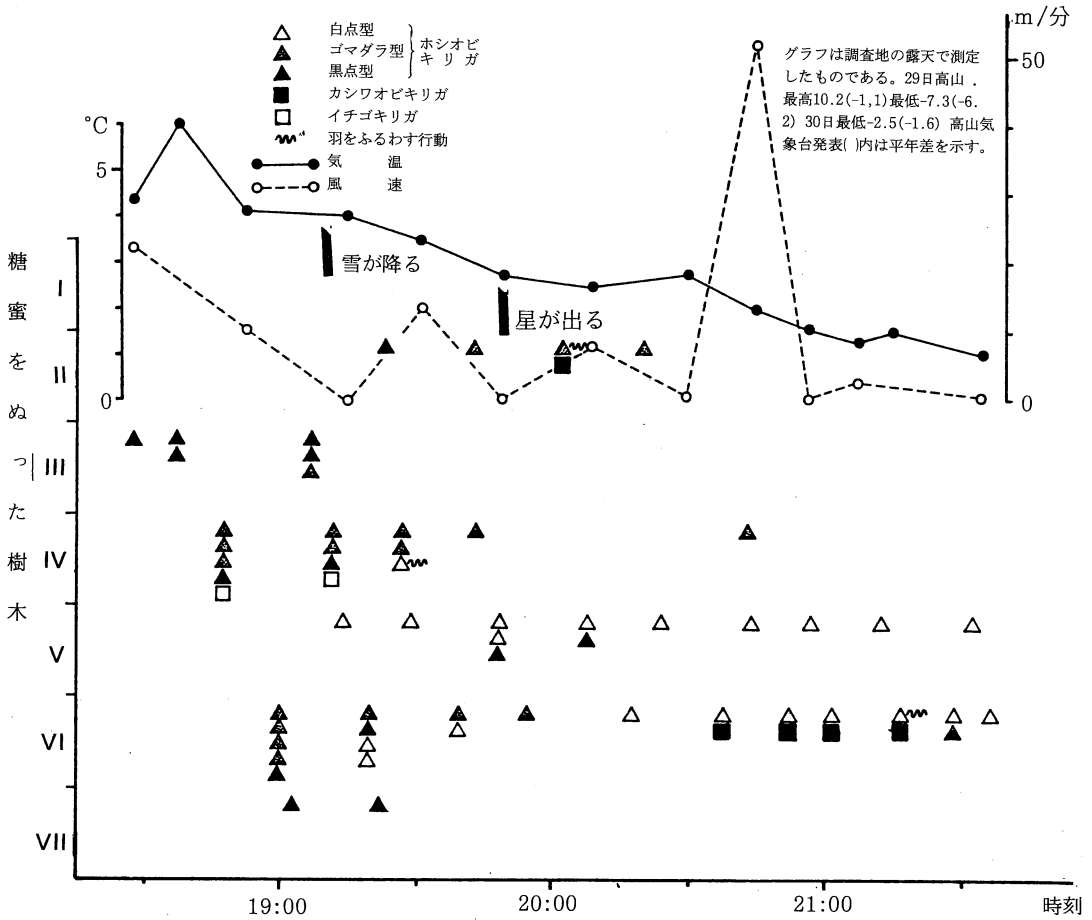


図1 越冬キリガの行動状況と気象状況の変化

外では全ての個体が朝を待たずに姿を消した。この調査でホシオビキリガ23匹、カシワオビキリガ2匹、イチゴキリガ *Orbona fragariae* VIEWEG. 1匹の合計26匹の吸蜜個体(他の樹への移動で重複も考えられる)を確認した。そのうちホシオビキリガ3匹が激しく翅をふるわすのを目撃した。これがコーリング行動か、飛び立つ前に体温を上げるための行動かは判断できない。しかし、2匹はその後飛んでいないので生殖に関する行動であったのかも知れない。遅くなって姿を消す個体は飛び去るのか、木を伝って、あるいは落下して落ち葉層(越冬場所)に達するのか

を知るため、VとVIの蜜の下に捕虫網を広げ固定した。しかし、この中に入った個体はみられなかった。21時30分にVIから飛び去る個体を目撃したので、少なくとも約1°Cの温度のもとで飛行できるのは确实である。

文 献

1. 藤原麒一郎. 1982.早春のキリガ出現期について. 誘蛾燈90:119 - 123.
2. 藤原麒一郎. 1983.越冬キリガの生態—ナワキリガ誘蛾燈 93:139 - 141.

(紹介)

岐阜県産ヤガ科蛾類 700 種になる

尾藤 成人

700 species of the Noctuidae recorded from Gifu Prefecture.

Narihito Bito

岐阜県産のヤガ科蛾類として、以下に示す12種の追加記録があり、700種類が知られることとなったので紹介する。

1. *Archanara sparganii* ESPER キスジウスキヨトウ,
2. *A. aerata* BUTLER ガマヨトウ,
3. *Coenobia orientalis* SUGI テンスジウスキヨトウ,
4. *Amphipyra subrigua* BREMER & GREY ヤヒコカラスヨトウ,
5. *Maliattha bella* STAUDINGER ソトムラサキコヤガ,
6. *Achaea janata* LINNAEUS シラホシアシブトクチバ,
7. *Goneptatica opalina* BUTLER フタスジエグリアツバ,
8. *Anatatha misae* SUGI ヒメナミグルマアツバ,
9. *Micreremites pyraloides* SUGI ウラモンチビアツバ,
10. *Luceria fletcheri* INOUE チビアツバ,
11. *Hypenodes rectifascia* SUGI ミジンアツバ,
12. *Bomolocha benepartita* SUGI シモフリヤマガアツバ.

上記の内シラホシアシブトクチバは、水野ら(1984)が指摘したとおり、儀賀(1969)がすでに記録していた種であるが、遠藤ら(1982)の目録では脱落していた。なお水野らは言及していないが、シラホシアシブトクチバの岐阜県における記録は、他に根尾村平野のものがあって、岡田(1972)が報告している。しかしこれも遠藤らの目録にない。

残り11種類の内、ヤヒコカラスヨトウは船越(1984・a)が、ソトムラサキコヤガとシモフリヤマ

ガアツバは尾藤(1985・a, b)が新たに岐阜県から記録したものである。また他の8種類についても、船越(1984・b)が県下未記録の蛾として報告したものである。

文 献

尾藤成人(1983)岐阜県産ヤガ科蛾類 688種になる。啓蟄 1(2): 24.

—— (1985・a) 岐阜県産ソトムラサキコヤガとネジロコヤガについて。啓蟄 3(7): 10.

—— (1985・b) 岐阜県未記録のヤガ1種。啓蟄 3(8): 15.

遠藤弘志他(1982)岐阜県産昆虫目録, ガ類(ヤガ科). 岐阜県の昆虫: 329-397.(岐阜県).

船越進太郎(1984・a) ヤヒコカラスヨトウ岐阜県で採る。蛾類通信 128: 46.

—— (1984・b) 岐阜県美濃市休耕田の蛾類。誘蛾燈 97: 117-127.

儀賀豊達(1969)シラホシアシブトクチバを岐阜県で採集。佳香蝶 21(81): 256.

岡田正哉(1972)蛾卵の外部形態について。誘蛾燈 47: 1-25.

水野利彦・阪巻正志(1984)愛知・岐阜県下のシラホシアシブトクチバの分布と食草。佳香蝶 36(140): 58.

啓 けいちつ 蟄

Vol. 3 No. 8

発行日 / 昭和60年(1985年) 12月 7日
 編集者 / 田中正弘 尾藤成人 野平照雄
 発行者 / 岐阜県昆虫分布研究会 (GKK)

〒501-11 岐阜県柳戸1番1
 岐阜大学教育学部内
 TEL 0582(30)1111 内線3162
 郵便振替 名古屋5-8149
 年額会費 3,000円

印刷所 / 名 港 印 刷 株 式 会 社
 名古屋市港区築三町3-6
 TEL (052) 652-3311